

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31203	生涯学習概論 Theory of lifelong learning	前田 治	専門	2	選択	1・2 年後期
科目の概要						
生活デザイン科のディプロマ・ポリシーに基づき、人が生きていくため、自らの尊厳のため、社会を変えていくためなどの基となる生涯学習(学校教育・家庭教育・社会教育における学習を含む)の基本的な知識を身に付ける。そのために、生涯学習と社会教育の歴史・発達段階に応じた生涯学習について理解し、生涯学習の必要性を明らかにする。						
学修内容			到達目標			
① 生涯学習の大切さや必要性について理解する。 ② 自分らしく生きるための自分自身の生涯学習計画(設計)を立てる。			① 生涯学習の大切さや必要性をレポートにまとめ、報告することができる。 ② 自分の特長を知り、自分自身の生涯学習計画(設計)について発表することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	生涯学習社会に生きるうえで「必要なこと」について、図書館などの文献を活用し、自己学修することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	教職等、将来希望する職に就くという目標や、出題された課題に向かって、くじけずやり切ることができる。				
考え抜く力	課題発見力	生涯学習社会における課題について、客観的に整理し、見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	生涯学習社会に必要な「生涯学習設計」を創造し、計画的に作成できる。				
チームで働く力	発信力	生涯学習社会に生きていくうえで「必要なこと」を、人に分かりやすい的確な文章や口頭(発表で)伝えることができる。				
	傾聴力	生涯学習社会に生きていくうえで必要な「他者の意見を受け止めつつ自分の意見を言うこと」ができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	生涯学習社会に生きていくうえで必要な「最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:配付するワークシートがテキストとなります。 参考文献:その都度紹介します。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:図書館司書任用に関する科目 資格との関連:図書館司書						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習論Ⅱも履修することが望ましい。 社会教育施設に出向き、関心をもっておくとよい。 			<ul style="list-style-type: none"> 遅刻3回を欠席1回に換算する。 授業開始から30分以降は欠席とする。 授業中に私語が著しい場合は退席、欠席扱いとする。 教員が許可する以外授業中の携帯使用禁止とする 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
小テスト	30	①	✓
		②	
			・生涯学習の定義と簡単な歴史的な流れを理解することができる。(第1～4週で扱った内容から、語句の穴埋めや簡単な用語の説明について、10問程度出題する)30点満点(30点・25点・20点)
レポート	15	①	
		②	✓
			・期日までに、少子高齢者問題と生涯学習の必要性との関連について、グループ討議を踏まえ、自分の意見をまとめたレポートを提出できる。(A4サイズ1枚程度、問題点と自分の意見を入れること)15点ABC3段階評価(15点・10点・5点)
成果発表 (口頭・実技)	15	①	
		②	✓
			・「私の生涯学習設計」について、発表することができる。(表現の仕方・説明の分かりやすさ・独自性を評価する)15点ABC3段階評価(15点・10点・5点)
作品	30	①	
		②	✓
			・自分の特長を知り、私の生涯学習設計を作ることができる。(完成度・分かりやすさ・独自性を評価する)30点ABC3段階評価(30点・25点・20点)
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
			(主体性) ・ワークシートの内容に加え、文献を使って自己学修をすることができる。 (実行力) ・私の生涯学習設計の作成に積極的に取り組むことができる。 (課題発見力) ・立案した生涯学習設計の課題を発見し、修正することができる。 (創造力) ・よりよい生涯学習設計にするために、様々な面から設計を検討することができる。 (発信力) ・私の生涯学習設計について、分かりやすく説明することができる。 (傾聴力) ・質疑応答では、発表を聞き取ったうえで、自分の意見を述べるすることができる。 (規律性) ・近い将来、社会人になるにあたり、自分自身に厳しくルールを課すことができる。 ※上記の7項目は、規律性を重視し、全体を通して総合的に評価する ・・・10点
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の定義等について小テストで 26 点以上とれる。 ・少子高齢化問題について自分の意見を踏まえ、分かりやすいレポートができる。 ・自分の特長を生かした分かりやすい「私の生涯設計」を作成し、発表できる。 (上記 A 基準を上回る内容であれば S とする)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の定義等について小テストで 21 点以上とれる。 ・少子高齢化問題について学修内容を生かしたレポートができる。 ・自分の特長を生かした「私の生涯設計」を作成し、発表できる。 (上記 B 基準を下回る内容であれば C とする)

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション 授業概要・授業のルール・評価方法を理解する。 ・生涯学習の定義 生涯学習とは何かについて考える。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習の定義について、整理しワークシートに記述できる。	予習・復習	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
2週 /	・生涯学習と社会教育の歴史1 社会教育の創始期(明治～戦中)について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	社会教育の創始期(明治～戦中)について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)学泉ノートを読んで理解してくる (復習)ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
3週 /	・生涯学習と社会教育の歴史2 社会教育の展開期と停滞期(戦後～昭和60年代)について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	社会教育の展開期と停滞期(戦後～昭和60年代)について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)生涯学習の歴史について文献等から理解してくる (復習)ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
4週 /	・生涯学習と社会教育の歴史3 生涯学習の展開期(昭和63年～現在)について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習の展開期(昭和63年～現在)について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)生涯学習の歴史について文献等から理解してくる (復習)ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
5週 /	・発達段階に応じた生涯学習1 ハヴィガースト等の発達課題論を理解する。 青少年教育の課題について考え、理解する。	小テスト(1～4週の内容45分) 講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	小テストに参加し、20点以上とれる。(語句の説明等第1週から4週の内容が理解できているか確認する) 青少年教育の特徴や課題について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)生涯学習の歴史について文献等から理解してくる (復習)ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性 発信力
6週 /	・発達段階に応じた生涯学習2 成人教育の特徴や課題について考え、理解する。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	成人教育の特徴や課題について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)小テストの想定問題を予想し、理解してくる (復習)ワークシートの内容を復習し本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
7週 /	・発達段階に応じた生涯学習3 少子高齢者問題と生涯学習の必要性の関連について考え、理解する。	グループ討議 自分の考えを分かりやすく相手に伝える(発信力)。 少子高齢者問題と生涯学習の必要性について、どんな関連があるか話し合い、レポートにまとめる。(傾聴力・課題発見力)。	レポートを作成し、期日までに提出できる。	(予習)生涯学習の歴史について文献等から理解してくる (復習)ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性 発信力 傾聴力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
8週 /	・生涯学習と学校教育1 学社連携から学社融合への理念の移行を理解する。	講義:特別講師 積極的に講師の話を聞く(傾聴力・規律性)。 本授業のまとめの記入(フィードバック)	出席し講師の話を聞くことができる。 講師の話の感想を期日までに提出できる。	(予習)学社連携・学社融合について、調べ、講師の先生への質問事項をまとめておく (復習)ワークシートの内容を復習し本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性 傾聴力 規律性
9週 /	・生涯学習と学校教育2 学校支援(学校評議員と学校評価、学校支援協議会、適応教室)の現状を考え、理解する。	講義 不登校の事例を通して考える。 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	学校支援(学校評議員と学校評価、学校支援協議会、適応教室)の現状について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)不登校の事例について、どんなケースがあったか、図書館やインターネットで調べておく (復習)ワークシートの内容を復習し本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
10週 /	・生涯学習と職業 生涯学習に関する職業の内容と必要な資格について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習に関する職業の内容と必要な資格について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)生涯学習に関する職業の内容について、図書館やインターネットで調べておく(主体性)。 (復習)ワークシートの内容を復習し本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
11週 /	・私の生涯学習設計1 ソーシャルスキルトレーニングの理論を活用し、自己分析を行う。	ワークシート 演習(ソーシャルスキルトレーニング) 本授業のまとめの記入(フィードバック)	自分自身を知ることができる。	(予習)ソーシャルスキルトレーニングの内容について図書館等で調べておく(復習)ワークシートの内容を復習し本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
12週 /	・私の生涯学習設計2 自己分析を生かし、私の生涯学習設計を作成する。	ワークシート 演習(設計作成) よりよい生涯学習設計を創造する(実行力・創造力)。 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習設計を作成することができる。	(予習)私の生涯設計の概略を考えておく(主体性)。 (復習)ワークシートの内容を復習し本週のポイントをまとめておく	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性
13週 /	・私の生涯学習設計3 私の生涯学習設計について発表する準備をする。	演習(設計作成) 12週で作成した設計を修正し、期日内に提出する(課題発見力)。 発表準備	生涯学習設計を完成させ期日までに提出することができる。 発表に向けて準備することができる。	(予習)聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする (復習)発表に使うPPを修正する)	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性 発信力 傾聴力 課題発見力
14週 /	・私の生涯学習設計4 私の生涯学習設計について発表する。	発表と質疑応答 分かりやすく発表する(発信力)。 発表をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	発表することができる。 他の発表を聴くことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする (復習)発表後の反省をまとめておく。	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性 発信力 傾聴力
15週 /	・私の生涯学習設計5 私の生涯学習設計について発表する。 ・学修のまとめ 学修のまとめとして、感想等をレポート「学修を終えて」にまとめる。	発表と質疑応答 分かりやすく発表する(発信力)。 発表をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。 レポート 生涯学習の重要性に触れながら感想にまとめる(実行力)。	発表することができる。 他の発表を聴くことができる。 本時間内に最終レポートを提出できる。	((予習)14週の授業を振り返っておく (復習)これまでに学修してきたことを復習しておく。	90 90	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力